

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」星が丘校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	教室の広さを有効活用してエリアを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	5	0	職員の入れ替えはありますが、経験を積んでいる職員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	絵や文字を活用し、分かりやすく伝えるよう心がけています。	事業所が2階にあるため、階段の上り下りがありますが、内部を充実に構造化・バリアフリー化を図っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	毎日清掃を行い、清潔な環境を提供できるよう心掛けています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	情報共有の場を設け話し合いを行っています。	意見交換の機会を増やし、業務改善を重ね、より良い支援の質を目指していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	保護者より頂いた意見を参考に、工夫・改善しています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	ホームページ上で公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		第三者委員会は発足段階にあります。他校舎の方に見学してもらい、意見をもらっています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	カリキュラムを設定し、充実した研修体制を整えています。外部研修も参加しています。	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	2	定期的なモニタリングを行い、保護者のニーズも確認しています。	客観的に分析し、保護者・児童のニーズに適した支援を提供していきます。

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	標準化されたアセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	発達支援を中心に支援しています。都度保護者とも話、ニーズを確認しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	2	支援計画表を見ながら、職員間で話し合いを行っています。	計画案に少し遅れが見られるため、早急に作成し保護者・児童と確認を図っていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3	支援計画表を見ながら、職員間で話し合いを行っています。	意見交換の機会を増やし、協力体制を強化していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	支援計画表を見ながら、職員間で話し合いを行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2	3	保護者のニーズと児童の特性を考慮して作成しています。	集団活動の機会がまだ少ないため、回数を重ね個別活動と組み合わせています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	支援前後に職員間で話し合い情報共有しています。	時間を有効活用し、ミーティング時間を積極的に設け情報交換を図ります。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	支援前後に職員間で話し合い情報共有しています。	時間を有効活用し、ミーティング時間を積極的に設け情報交換を図ります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2	支援前後に職員間で話し合い情報共有しています。	少し遅れが目立つため早期作成・共有に努めます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	モニタリングを行い、達成度、課題点を確認し共有しています。	
関 係 機 関 や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	管理者・児発管が出席するようにしています。	管理者・児発管を中心に積極的に参画を図っていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3	連携できる態勢は取っています。	関係機関と連携をもっとできるように連絡を取り合っていきます。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	該当ありません。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	該当ありません。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	基本情報シートをもとに様子を伝えていきます。	連携が取れる回数が少ないため、連携の回数を増やしていきます。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	基本情報シートをもとに様子を伝えていきます。	連携が取れる回数が少ないため、連携の回数を増やしていきます。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	基本情報シートをもとに様子を伝えていきます。	連携が取れる回数が少ないため、連携の回数を増やしていきます。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	挨拶時に施設見学等の機会を設けていきます。	子どもの通っている幼稚園等と連携をしていきます。

	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	管理者・児発管が参加し、校舎で共有しています。	中央区では開催が無いため積極的に他事業所等と連携を図っていきます。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	保護者から要望を確認し、職員間も話し合い共有しています。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	家庭での様子を保護者より伺い、児童に合わせた支援内容や声掛けを保護者と確認しています。	保護者対象のイベントを企画し、機会を頻繁に設けていきます。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	契約時に保護者に説明しています。また、教室に掲示し閲覧できるようにしています。	引き続き、契約時に運営規程・利用者負担等丁寧な説明を行います。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1	3か月ごとにモニタリング、個別支援計画を作成し、保護者に説明し、同意を得ています。	

	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	受けた相談は職員間で情報共有を速やかに行き、事業所内相談も案内しています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	小集団療育にて保護者同士のコミュニケーションを図っています。	保護者対象のイベントを企画し、機会を頻繁に設けていきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談等は職員間で情報共有し、早期対応に取り組んでいます。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	ブログにて児童の様子や活動概要など発信しています。	月に2回程度ブログを作成・発信することで情報提供を継続していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	1	個人情報の書類は鍵のかかる書庫に保管しています。また、個人情報の紛失漏洩が無いように整理しています。	各職員、個人情報取り扱いに関するルールを遵守し、管理体制をより強化していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	職員間で子どもの様子を引き継ぎし、状況に応じて、視覚的教材を活用し、意思疎通を図るなどしています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	外部向けイベントを実施し、体験、見学ができる場を設けています。	イベント回数が少ないため、回数を増やし、外部の方へチラシ等にて案内を図っていきます。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	月一回、防災訓練を実施しています。	机上のみならず、実践的な訓練を重ねることで、防災に対する意識を強めてきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	月一回、防災訓練を実施しています。	机上のみならず、実践的な訓練を重ねることで、防災に対する意識を強めてきます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	基本情報シートを面談時に記入し、服薬等の確認をしています。	面談時、継続して服薬等の確認を徹底していきます。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	基本情報シートを面談時に記入し、アレルギー等の確認をしています。	面談時、継続してアレルギー等の確認を徹底していきます。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	事例をまとめ職員全体が目を通せるようにしています。	「ヒヤリ」になりうる事例を継続して確認・共有し事故防止に努めていきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	校舎や地区で研修を行い、対応を学んでいます。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2	契約時に保護者に説明を行い、了承を得ています。	契約書等に明記し、職員、児童・保護者双方の理解し納得できる体制を確立していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」星が丘 保護者等数（児童数） 20 回収数 16 割合 80 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	0	0	興味が移って対応してくれています。一人一人のスペースが十分に軽い運動ができて良いと思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	5	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	4	0	0	机・椅子・ホワイトボード等シンプルで分かりやすいと思います。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	0	1	0		
適切 な支 援の 提 供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	1	0	0	活動が終わる度に確認してくれるのが良いです。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	1	0	4		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	3	0	1	本人の能力に合わせて変えてくれています。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	3	0	0	様々なプログラムを計画して頂き、個人の成果により臨機応変に対応して頂いていると思います。	

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	4	7	そういった機会が無いので分かりません。	交流の機会を増やすとともに、ブログ等にて外部に積極的に発信していきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	5	2	5		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	3	0	2		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	5	0	3	活動の都度、質問時間を設けて頂いて、その都度助言をもらっています。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	5	8	他の方と関わる機会が無いので分かりません。	保護者対象としたイベントを企画し、情報交換・共有できる場を設けていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1	0	5	時間変更の対応のときは本当にとっても助かりました。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	2	0	7	確認したことがありません。	児童・保護者への周知・認知向上を案内より徹底していきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13	0	0	3		
非常時等の	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	1	1	7	最初の契約のときに避難所のお話は聞いています。訓練はしたことは無いが、緊急	

対応							の病気などは把握できています。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	2	9		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13	2	1	0	朝から「きりり行く?」と何度も聞いています。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	3	0	0	とても満足しています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。